

中筋川ダムにより河川水位を低減 ～平成29年8月台風5号における治水効果～

436mm(時間最大36mm)の雨

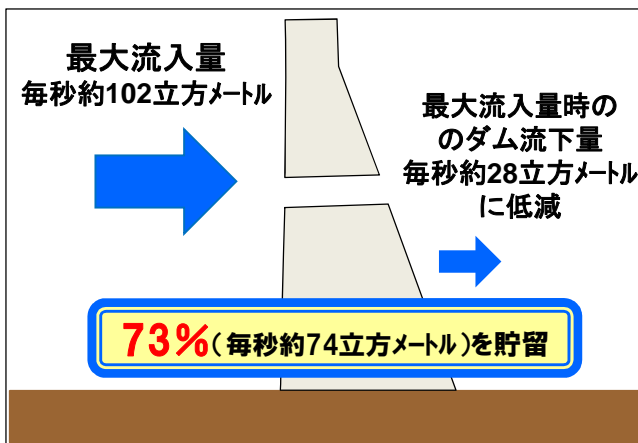
中筋川ダム上流域において、8月3日1時～8月6日24時にかけて **累計約436mm**
(**時間最大約36mm**)の降雨となりました。

中筋川ダムにより73%を貯留

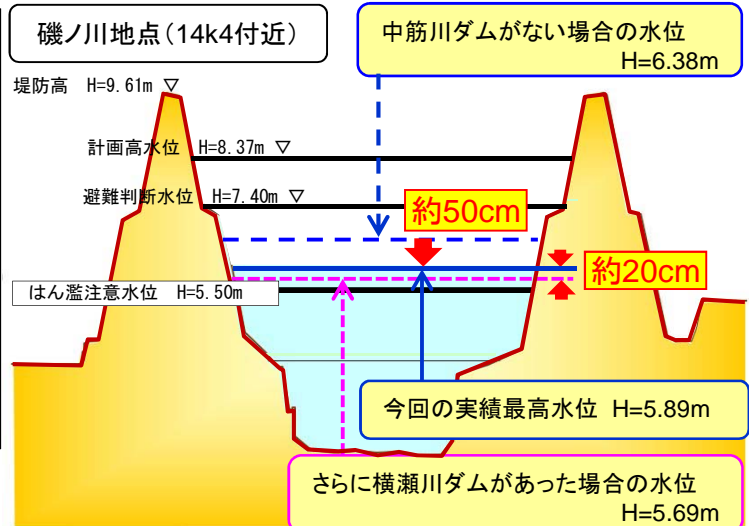
中筋川ダムへの最大流入量**毎秒約102立方メートル**の**73%を貯留**し、ダム流下量を**毎秒約28立方メートル**に低減しました。



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を複製したもの(承認番号 平23四複、第84号)を一部転記したものである。



中筋川ダムの防災操作状況
(8月6日23時50分)



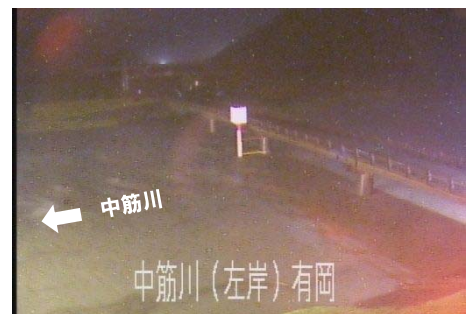
※上記(H:量水標)の値に0.577mを加えた値が標高(m)となります。

中筋川ダムにより河川水位を約50cm低減

中筋川ダムの防災操作により、**磯ノ川地点で約50cm**水位を低減させました。

横瀬川ダムにより更に約20cm低減

建設中の横瀬川ダムが完成していた場合は**更に約20cmの水位低減効果**が期待できます。



磯ノ川地点(8月6日23時50分撮影)

※本資料の数値等は推定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

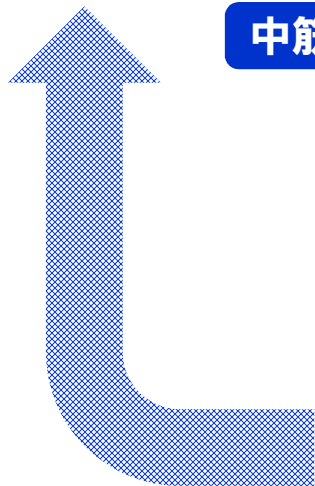
平成29年8月台風5号における治水効果 ～中筋川ダムにより河川水位を低減～

中筋川ダムの防災操作後の貯水位 約 $H=79.35\text{m}$

(8月7日9時00分)



中筋川ダムの防災操作前の貯水位 $H=69.97\text{m}$



(8月4日7時00分)